

2018 年度(平成 30 年度) 年間活動報告

当センターは 2010 年 4 月に「医師・医学生支援センター」として発足以来、2013 年 10 月からは組織改正により、対象を医師・学生、研究者に拡大し、職場や研究環境の整備を進めてきました。

文部科学省科学技術人材育成補助事業「女性研究者研究活動支援事業」(平成 25 年度～27 年度)の目標達成後も、継続して、「ライフイベントサポート研究支援制度」や交流会、面談等を行い、ニーズを拾い上げながら、就業継続しやすい学内の環境整備を進めています。このような支援事業により女性研究者の科研費応募・採択者数の増加など研究力の向上を実現しています。

平成 30 年度は今般事案により本学が真摯にダイバーシティに取り組む年となり、まずは、医師について勤務の見える化アプリの導入を検討し、働きやすい環境づくりを進めています。また、ダイバーシティ推進の大きな課題でもある女性活躍の推進を目標に、女性研究者の研究支援についてのニーズ調査と昇任基準の充足調査を行い、上位職女性役員・教員の増加を推進していく準備を始めました。

さらに、ダイバーシティ推進本部事務局として法人人事部とダイバーシティ推進セミナーを開催するなど法人全体のダイバーシティ実現に向けた活動もしています。

このたび、2019 年 4 月 1 日から、医師・学生・研究者支援センターは組織改正によりダイバーシティ推進センターとなりました。新体制の下、医師・学生・研究者部門として、法人全体のダイバーシティを実現し、誰にとっても学びやすい、また、働きやすい組織づくりに貢献していきます。

(医師・学生・研究者支援センター長・教授 大久保ゆかり)

相談窓口

- ・年間延べ相談件数 42 件 (研究相談含む)

就業継続・復職支援

- ・働き方の見える化アプリ導入準備
- ・「キャリア・復職支援プログラム」の再検討⇒大学病院「いろいろ学べるバラエティコース」に参加

学生・研修医支援

- ・医学科 1～4 年生および初期研修医に対して、授業やランチョンセミナーにおいてキャリアを考える機会の提供

調査・広報

- ・女性教員を対象とする「研究活動支援制度に関するニーズ調査」ならびに「上位職への昇任基準の充足調査」の実施
- ・支援センターNEWS の発行 (年 3 回)
- ・文部科学省補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (牽引型)」申請

育児支援

- ・ファミリーサポート利用実績 : 年間 1019 件(前年より約 200 件増、124%)
- ・新保育園開園準備

研究者支援

- ・ ライフイベント中の研究者に研究補助者を配置（のべ 16 名、うち男性 1 名）
- ・ 研究支援による成果報告会 ・ 科研費申請個別指導・相談 7 件
- ・ 2019 年度科研費応募者数 55 名（2013 年度比 1.3 倍）、新規採択者数 16 名（2013 年度比 1.45 倍）
- ・ 交流会の開催（全 13 回、うち茨城・八王子各 1 回）